

特定行為看護師の活用と育成

2025年3月18日（火）

自治医科大学附属さいたま医療センター

尾身直枝

本日の内容

I. 当センターの概要

II. 特定行為看護師の役割・人数

III. 特定行為看護師の活動状況

IV. 育成計画

当センターの概要



許可病床数	628床（一般床561床、ICU・CCU22床、EICU8床・HCU20床・NICU9床・GCU12床、救命救急センター20床） 標榜診療科20科
職員総数	1,610人（2024年4月1日現在） （看護職員854人、医師360人、医療技術職員263人、事務・その他133人）
1日平均患者数	外来 1500人（紹介率：95.6% 逆紹介率：59.8%） 入院 415人
病床稼働率・平均在院日数	92.5% 10.1日
救急患者延数	11557人 救急車数9543台 1日平均救急車数26台 厚労省救急充実評価埼玉1位
手術件数	手術件数：7512件 心臓血管外科500件以上
診療指定等	第三次救急指定病院・災害拠点病院・エイズ拠点病院・地域がん診療連携拠点病院・入院基本料7対1・DPC対象病院・急性期看護補助体制加算50対1 夜間看護配置加算12対1

2023年度実績

自治医科大学の事業計画

医療人の育成

1. 特定行為看護師育成計画に沿い、
研修受講者の増員を図る。
2. 現在実施している組織横断的活動を
拡大する。

特定行為看護師の役割と人数

「地域医療及び高度医療の現場において、高度実践能力を発揮し、チーム医療のキーパーソンとして機能できる看護師の育成」が特定行為研修の目的

2015年10月に自治医科大学看護師特定行為研修センターが研修機関に指定され、2016年10月に2名が研修を修了し、2017年より特定行為を開始

2025年2月現在、26名が活動している

特定行為看護師の業務

1. 重症化の予防や早期回復に向けて適切な診療・看護がタイムリーに行われるよう、疾患・治療の理解と症状の変化を含む包括的なアセスメントから、適切な臨床判断により早期介入を行う
2. 当センターにおける認定方法に従って、習得と認定された、特定行為が医師指示で実施可と指示されている場合、手順書に従って特定行為を実施する
3. 患者・家族に専門的な知識に基づいて病状や治療・検査および療養や日常生活の指導についてわかりやすく説明を行う

特定行為看護師の業務

4. チーム医療の推進によってより良い医療が提供され、看護の専門性が発揮できるよう、医師をはじめ他職種との連携を図る

5. 高度医療の円滑な実践や重症化予防・早期回復のための看護師のアセスメント力向上のため、ロールモデルとなるとともに教育を行う

6. 自治医科大学看護師特定行為研修の実習において指導補助者の役割を果たす

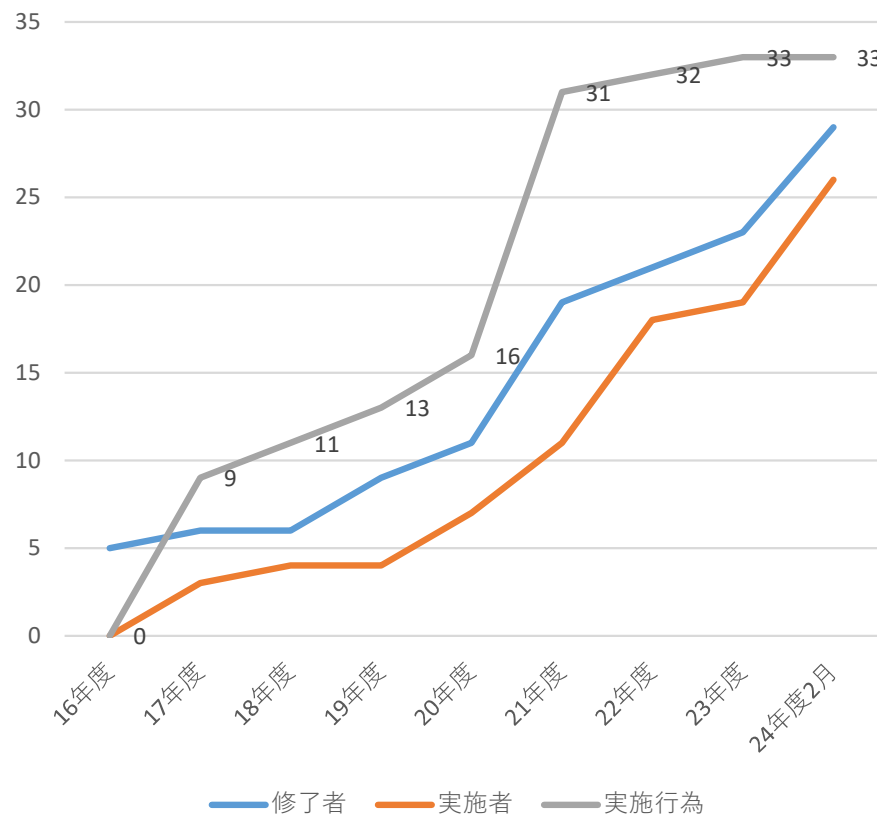
7. 特定行為看護師業務に関する検討、手順書の作成・改訂などを行う

特定行為看護師の人数・配属部署

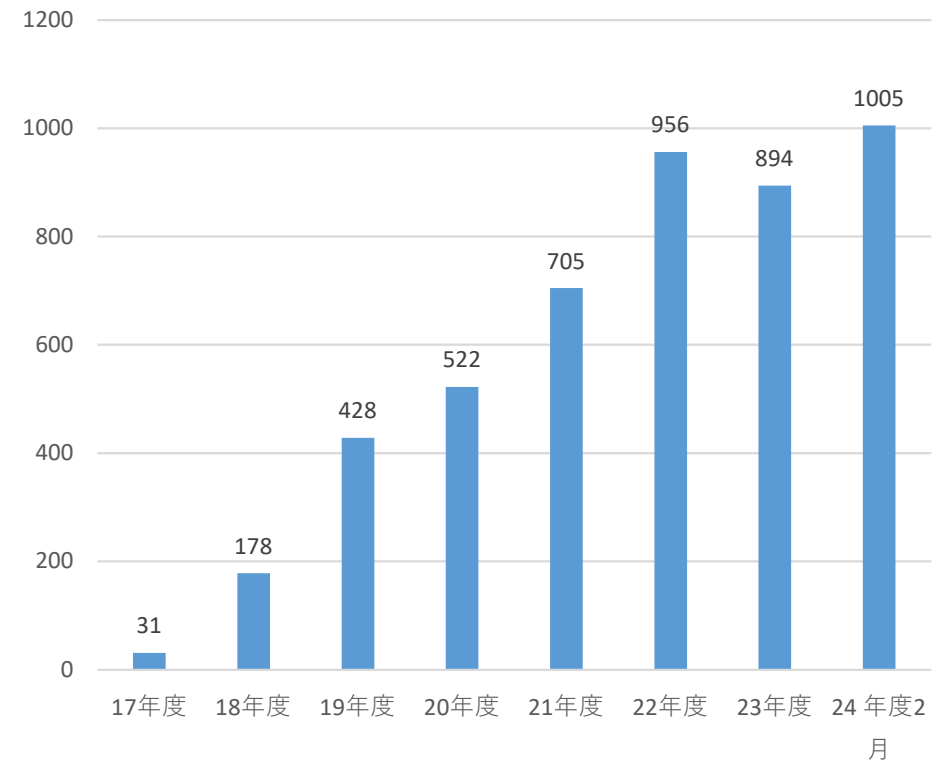
部署	人数	特定行為
ICU/CCU	5名	集中治療領域パッケージ(5名)
EICU	3名	集中治療領域パッケージ(1名) 術中麻酔管理領域パッケージ(1名)
HCU	3名	外科術後病棟管理領域パッケージ(2名) クリティカルケア認定看護師(1名)
救命救急センター	3名	外科術後病棟管理領域パッケージ(1名) 救急看護認定看護師(1名)
手術部	4名	術中麻酔管理領域パッケージ(4名)
一般病棟	5名	皮膚・排泄ケア認定看護師(2名)
リソースナース部門	2名	皮膚・排泄ケア認定看護師(1名)・認知症認定看護師(1名)
外来	1名	気管カニューレの交換

特定行為看護師の活動状況

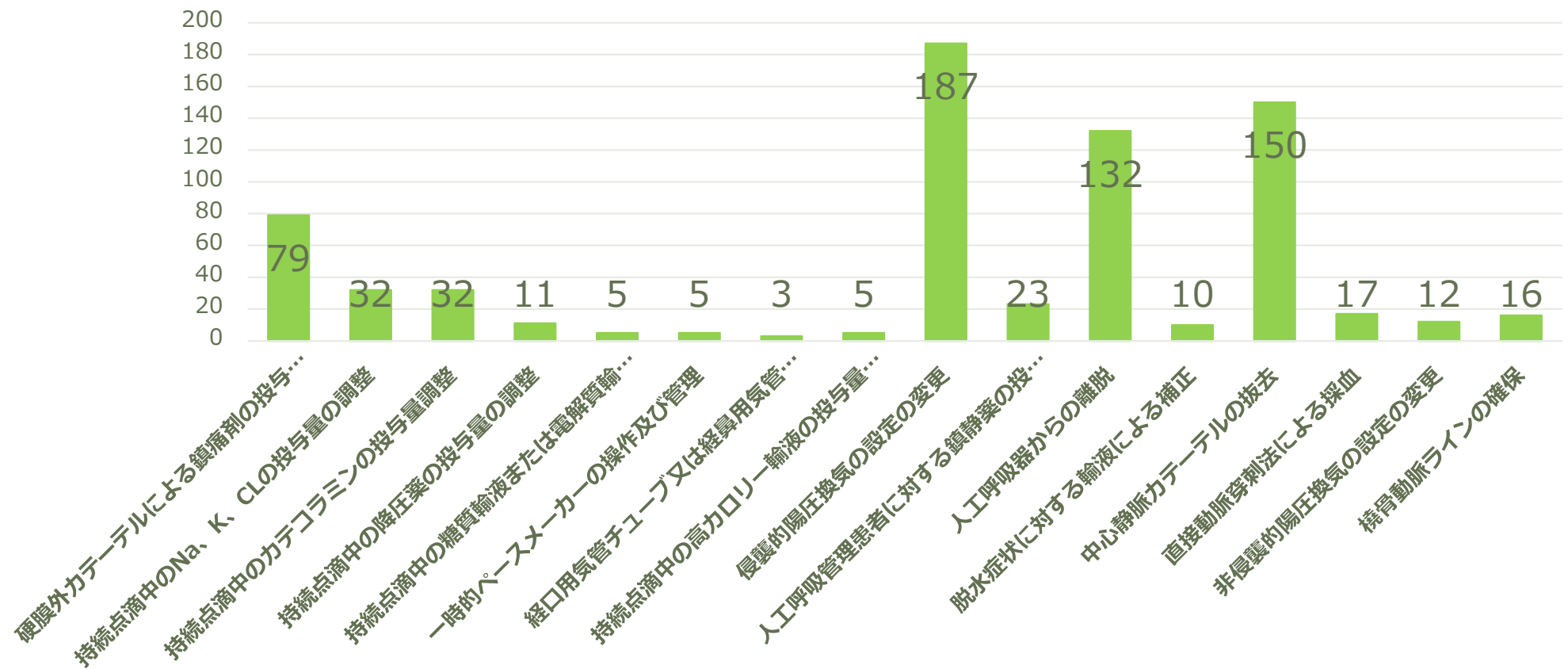
修了者・実働者・実施行為数の推移



実施数



クリティカルケア部門における活動状況



組織横断的活動①

- 特定行為チーム 2024年5月から活動開始
(SMAT : Specified Medical Act Team)

外科術後病棟管理領域パッケージ修了者3名

活動日：週2回（火曜日 木曜日）

特定行為：腹腔ドレーン抜去

中心静脈カテーテル抜去

動脈血ガス分析採血

拡大計画：末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入

組織横断的活動②

●術後疼痛管理チーム：APS

術後疼痛管理チームに、特定行為看護師が加わり活動

対象：一般外科患者

対象患者の拡大を検討中

●呼吸サポートチーム：RST

呼吸ケアチームとしてのカンファレンス・ラウンドを実施（週1回）

加算対象外の患者に対して特定行為看護師が部署横断的にラウンド

特定行為以外の活動

● 診療の質向上のための活動

医師や他職種への報告・相談・議論

チーム医療のための連携、調整

● 看護の質向上のための活動

ロールモデル（臨床推論、医師への報告）

看護師からの相談への対応

部署内教育、研修講師・インストラクター

修了した行為に関連した業務改善



育成計画

- 自治医科大学の事業計画における医療人の育成において、特定行為看護師の配置をすすめている。
- タイムリーな特定行為の実践により、患者は医師を待たずに必要な医療が提供される。
- 疾患と治療の理解、フィジカルアセスメント、臨床推論を含んだ医師への報告・相談は、状態悪化を防ぎ適切な医療を推進できる

 上記メリットを最大限に活かすために、特定行為看護師は、各勤務帯に配置されることが望ましく、1部署で6-8名の配置を目標に研修参加を計画的に進める

研修生への支援

- 入校式、集合研修、テスト、実習  出張
- 当センターでの実習  業務免除
- 受講料  支援あり
- 共通科目eラーニング187時間  月4日、
日勤として学習時間を確保（6カ月間）